

県立金山総合公園の遊具(ふわふわドーム)に係る 群馬県の今後の対応方針について

群馬県では、県立金山総合公園の遊具(ふわふわドーム)において、令和4年8月及び9月に、2ヶ月間連続して発生した2件の全治4ヶ月の骨折事故を重く受け止め、「県立金山総合公園事故検証委員会」(以下、「検証委員会」という。)を設置しました。

検証委員会では、原因の究明と再発防止策の検討を行い、検証結果及び提言に関する報告書が取りまとめられました。

この報告を受け、群馬県では、以下のとおり対応方針を決定しました。

対応方針1【ふわふわドームの継続使用】

県立金山総合公園は、昭和54年の国際児童年を記念して整備計画され、子ども達が「健康な体」「豊かな心」「考える力」を育み、家族とともに利用できる公園として設置しています。ふわふわドームが「健康な体」「豊かな心」「考える力」を育むことに寄与していると考えられることから、本遊具の設置を継続します。

ただし、子どもがより安全に遊べるように、検証委員会からの報告を踏まえた、再発防止策を講じた上で利用を再開し、3ヶ月間のモニタリング期間を設け、30日以上の治療を要する事故が発生した場合は、直ちに使用を中止し再度検証を実施します。

対応方針2【再発防止策の実施】

現在の実施内容	再発防止策	対応
看板の設置	看板の記載内容の更新(※1)	更新
看板を遊具の南側に1ヶ所設置	看板の位置の変更(出入り口へ設置)	更新
コロナ禍対応のため仮設ネットを設置	固定フェンス設置により使用を管理	更新
遊具の周辺にベンチを設置	見守りスペースの設置	更新
—	音声による周知(※2)	新設
—	監視カメラの設置	新設
—	パンフレット等の配布(※3)	新設
—	指定管理者により毎朝確認後解放	新設

対応方針3【今後の取組】

モニタリング期間終了後も、事故及びケガに関する利用者からの声や意見を集約し、データの蓄積を行い、リスク回避に向けた防止策等を講じ、遊具の更なる安全性を高めてまいります。

(※1) 看板の記載内容

(記載例)

遊び方によっては、骨折などの重大なケガが発生することがあります。
特に、骨や関節が成長過程にある幼児は注意が必要です。
また、近年子どもの体力が低下傾向にあります。利用に際しては、子どもの体力に合わせて、保護者など、大人の方々の適切な判断をお願いします。

看板デザインは、保護者や子どもにもわかりやすく伝える工夫をします。

(※2) 音声案内の内容

(案内例)

「ご来園のみなさまにお知らせいたします。当園のふわふわドームのご利用は安全確保のため6歳から12歳までのお子様に限らせていただきます。
また、近年、子どもの体力が低下傾向にあります。遊び方によっては骨折等の重大なケガを引き起こす可能性がございます。保護者の皆様におかれましては、利用方法をご確認いただき、お子様の体力に合わせたご利用、見守りをお願いいたします。」

(※3) パンフレット等の配布

一般社団法人 公園施設業協会発行のパンフレット「仲良く遊ぼう」や公園オリジナルの「お願いカード」等を活用し、公園の入り口等にて配布します。